

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-4号)

平成30年6月26日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年6月21、22日に伊勢湾、6月22日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

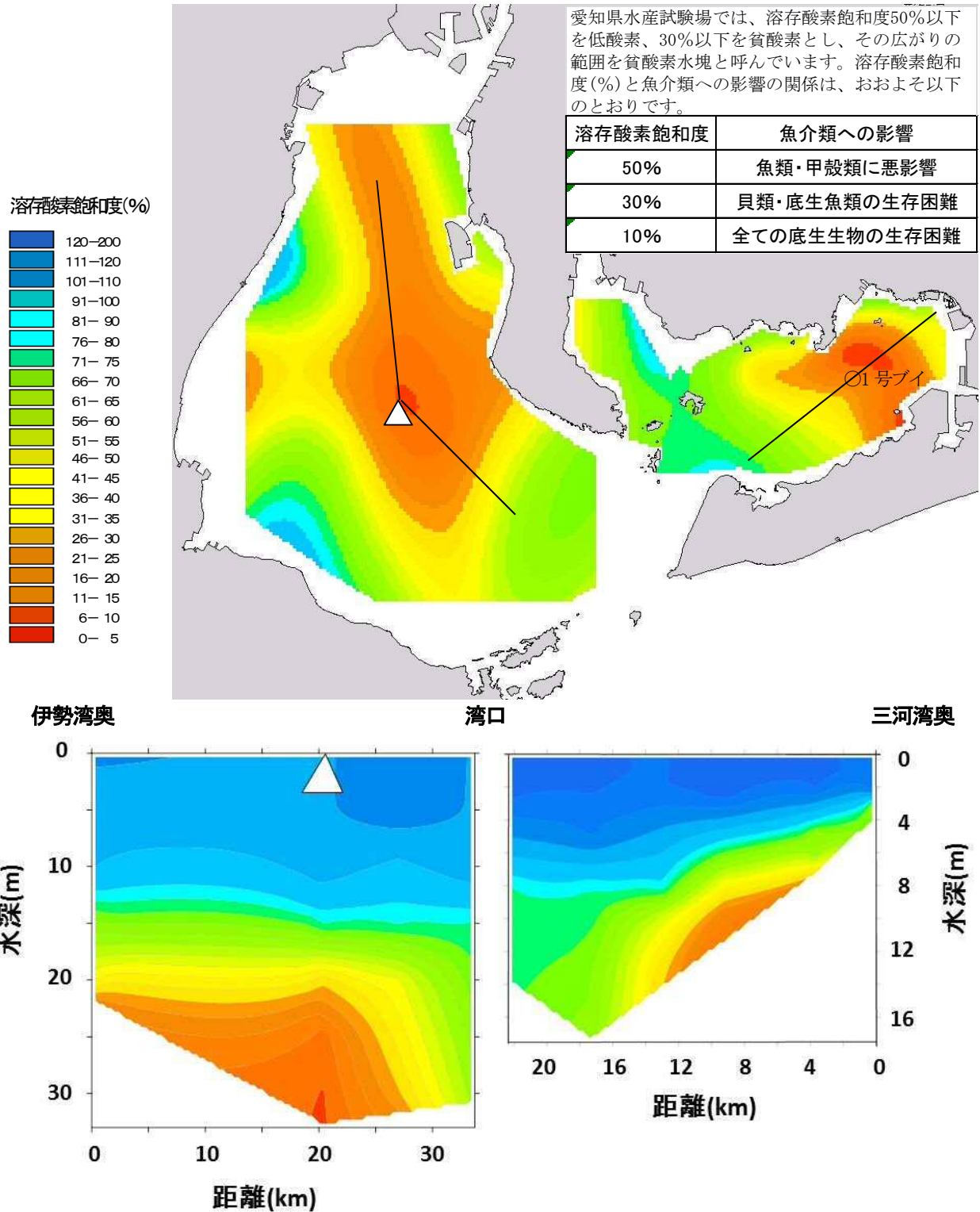


図1 伊勢湾（6月21、22日）・三河湾（6月22日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「海幸丸」、「へいわ」調査）

伊勢湾

6月21、22日の調査結果を図1に示しました。前回調査（6月13、14日）に比べ、湾中央部で貧酸素水塊の範囲が拡大していました。

今後は、表層の水温上昇にともなう成層化により、海水の上下混合が起きにくくなるため、貧酸素水塊がさらに発達すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	21.4~22.2	24.6~31.6
底層	15.6~20.0	32.1~33.5

三河湾

6月22日の調査結果を図1に示しました。渥美湾東部の南寄りに貧酸素水塊がみられました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、12日の強風の影響により貧酸素水塊が一時的に解消されましたが、14日以降再び発達している様子が観測されました（図2）。さらに、19日の午後から20日の午前にかけて風速3.9~11.2 m/s（平均6.6 m/s）の南から東の風が断続的に吹いた影響により、貧酸素水塊が渥美湾東部の南寄りに分布したものと考えられます。

今後は、表層の水温上昇にともなう成層化により、海水の上下混合が起きにくくなるため、貧酸素水塊がさらに発達すると思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.0~24.8	22.1~31.1
底層	20.1~21.8	30.5~32.9

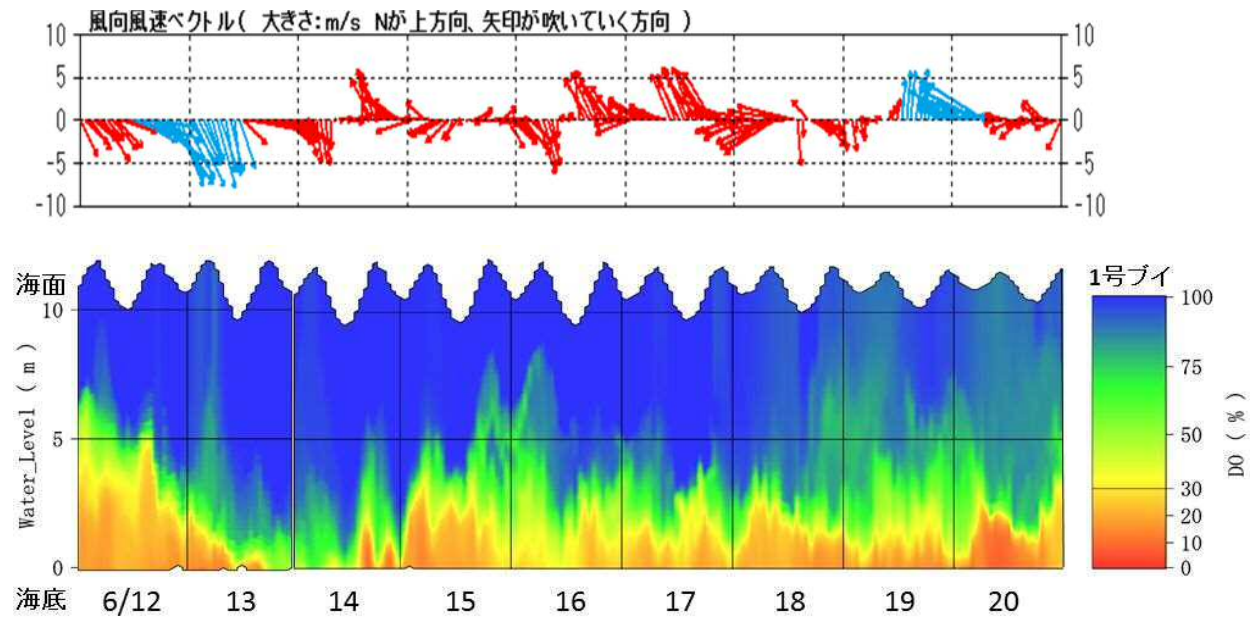


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

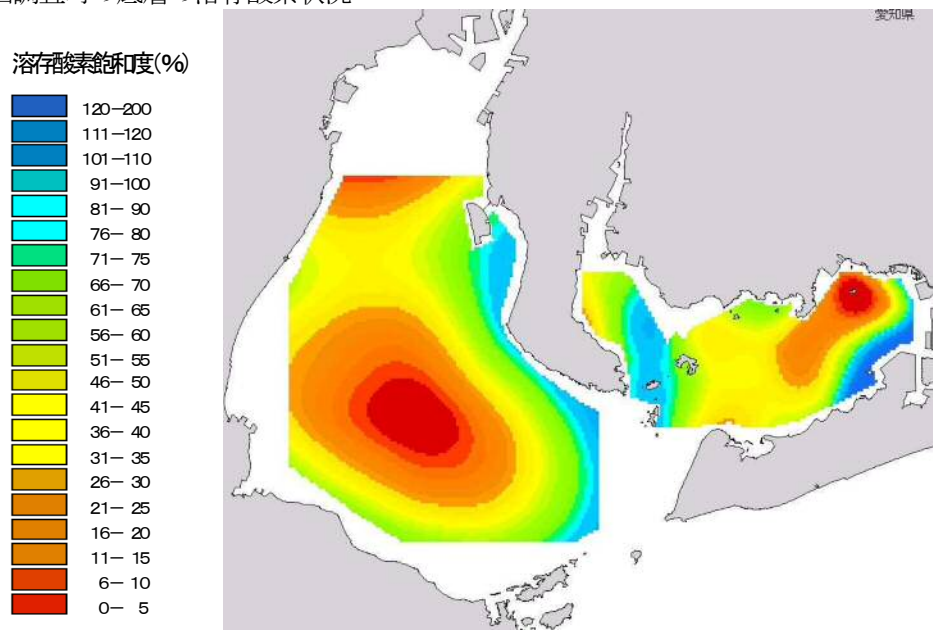


図3 平成30年6月13、14日 (伊勢湾)、6月13日 (三河湾)